

## 実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	九州に現存する戦前橋梁の意匠調査
助成事業者	第一工業大学
代表者	羽野 暁
<p>(目的)</p> <p>住民が豊かさを実感し誇りを持てる地方の創生が求められている。土木学会では選奨土木遺産のまちづくり活用を促しているが、大正～昭和初期に地域の近代化を担った地域橋梁は価値評価が十分ではなく利活用も進んでいない。地域橋梁が現存する地域は過疎化が進む地域と重なる。これら地域橋梁の価値評価と利活用を進めたい。</p>	
<p>(概要)</p> <p>本研究は、平成26～27年度の2箇年をかけて、九州に現存する大正～昭和初期の地域橋梁を対象に、①デザインサーベイ、②オーラルヒストリー調査、③歴史紙芝居実演を通じた利活用の試みを実施したものである。</p> <p>(1) 大正～昭和初期橋梁のデザインサーベイ</p> <p>近代の地域橋梁を対象として、親柱・高欄の現地調査を実施し、記録写真の撮影と実測、および実測をもとに親柱・高欄デザインサーベイ図の作成を実施した。対象橋梁は老朽化に伴い架け換えが進められているが、九州圏内に現存する橋梁数は相当数あり、かつ、広範囲に点在している。現存する地域橋梁は当時の状況を把握できる希少な調査対象である。本研究を通して、鹿児島・福岡両県の県管理橋梁について記録データを蓄積した。</p> <p>(2) 大正～昭和初期橋梁のオーラルヒストリー調査</p> <p>近代の地域橋梁を対象として、橋梁架橋位置の周辺地域におけるヒアリング調査を実施し、得られた証言をもとに地域橋梁の口述資料を整理した。鹿児島県始良市に現存する地域橋梁である山田橋を対象として、橋梁に関する地域の記憶、および、橋梁を中心とした地域の生活景に関する記憶を収集した。</p> <p>(3) 大正～昭和初期橋梁の歴史紙芝居の制作と実演</p> <p>上記山田橋を対象として、オーラルヒストリー調査により得られた歴史情報をもとに、山田橋に関する歴史紙芝居を制作した。制作した歴史紙芝居は、始良市教育委員会の協力を得て、山田橋に隣接する始良市立山田小学校にて実演会を実施した。歴史紙芝居の実演会は、過疎・高齢化が進む同地域において、子供と大人、高齢者が地域の記憶を共有する貴重な場となった。オーラルヒストリー調査に基づく歴史紙芝居の実演が、世代間交流の場の創出に効果的であることが分かった。</p> <p>本研究を通して、大正～昭和初期の地域橋梁に関する記録資料が蓄積でき、かつ、地域橋梁の利活用が過疎・高齢化が進む地域の活性化に貢献できる潜在力を有することが分かった。</p>	